



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 東邦亜鉛株式会社
コード番号 5707 URL <http://www.toho-zinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

(氏名) 手島 達也
(氏名) 乙葉 敏夫

TEL 03-3272-5614

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	23,664	△3.6	△1,453	—	△2,389	—	△1,629	—
24年3月期第1四半期	24,545	△0.1	349	△78.5	577	△62.7	125	△85.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,734百万円 (△19.1%) 24年3月期第1四半期 3,380百万円 (178.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	△12.00	—
24年3月期第1四半期	0.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第1四半期	147,442	62,665	42.5	461.46
24年3月期	149,803	60,882	40.6	448.32

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 62,665百万円 24年3月期 60,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	53,000	3.8	2,000	55.3	2,000	899.1	1,300	—	9.57
通期	116,000	9.5	4,700	67.7	4,700	63.5	3,000	198.4	22.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	135,855,217 株	24年3月期	135,855,217 株
25年3月期1Q	56,451 株	24年3月期	55,951 株
25年3月期1Q	135,798,848 株	24年3月期1Q	135,799,973 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）継続企業の前提に関する注記	8
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
（5）セグメント情報等	8
4. 補足情報	9
（1）連結売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にあったものの、自動車生産の回復等を背景として、生産、設備投資とも僅かに持ち直しの動きが見られ、緩やかながら回復基調にありました。一方、世界経済は全体として減速感が広がり、弱い回復にとどまるなか、常に欧州債務問題のリスクに左右される状況でありました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、為替相場(円/US\$)は年初来の金融緩和から82円台と、一時の超円高からは円安方向で新年度を迎えました。またLME(ロンドン金属取引所)相場等の金属価格は年明け後2月にピークをつけた後、若干弱含みであったものの底堅い動きで、新年度をスタートしました。しかしながら、年度明け早々欧州債務問題への不安が再燃したことにより、円は再び強含みとなり、金属価格はリスク回避の動きから下落しました。

前年同期におきましては、東日本大震災の影響で亜鉛系2工場が操業停止となったため、亜鉛製品や酸化亜鉛の減産を強いられました。当第1四半期におきましては通常操業に戻っております。しかしながら、金属価格の下落に加え、円高に再び振れたことから、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が236億64百万円と前年同期比8億80百万円(3.6%)の減収となりました。

損益面では、金属価格の下落や円高等の影響により採算が悪化し、加えてたな卸資産の低価法評価損失が発生したことで営業損益は14億53百万円の損失(前年同期は3億49百万円の利益)、経常損益は連結子会社の豪州の鉱山会社CBH Resources Ltd.(以下「CBH社」という。)に対する豪ドル建て貸付金の円高に伴う為替評価損失が加わり23億89百万円の損失(前年同期は5億77百万円の利益)となりました。四半期純損益は税効果の影響もあり16億29百万円の損失(前年同期は1億25百万円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製錬事業部門

当第1四半期連結累計期間におきましては、震災の操業への影響は解消し、亜鉛製品の販売も回復基調となったものの、相場下落により売上高は168億69百万円と前年同期比11億51百万円(6.4%)の減収となりました。営業損益は、採算悪化に加えたたな卸資産の低価法評価損失が発生したことで17億20百万円の損失(前年同期は42百万円の利益)と前年同期比17億62百万円の減益となりました。

② 資源事業部門

CBH社を擁する当事業部門の売上高は15億18百万円と前年同期比54百万円(3.7%)の増収となりました。一方で、CBH社の業況において豪ドル高等による採算悪化のほか鉱業権・のれん等の償却負担も加わり、営業損益は3億45百万円の損失と前年同期比90百万円の減益となりました。

③ 電子部材事業部門

電子部品、電解鉄、プレーティングとも国内外の需要が伸び悩み、売上高は17億62百万円と前年同期比1億14百万円(6.1%)の減収、営業利益は2億18百万円と前年同期比18百万円(7.7%)の減益になりました。

④ 環境・リサイクル事業部門

震災により減産を余儀なくされた酸化亜鉛をはじめ、その他のリサイクル事業の操業が順調に回復したため、当事業部門の売上高は11億27百万円と前年同期比7億39百万円(190%)の増収、営業利益は1億45百万円と前年同期比1億円(226%)の増益となりました。

⑤ その他事業部門

防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業及び運輸事業等で構成される当事業部門の売上高は、大型プラント案件の減少等により23億86百万円と前年同期比4億8百万円(14.6%)の減収、営業利益は2億51百万円と前年同期比70百万円(22.0%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ23億61百万円減少し、1,474億42百万円となりました。これはCBH社における鉱山への投資があったものの、たな卸資産などが減少したこと

よるものであります。

負債については、借入金の返済などにより前連結会計年度末に比べ41億44百万円減少し、847億76百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が減少したものの、為替換算調整勘定が増加したことにより前連結会計年度末に比べ17億83百万円増加し、626億65百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は42.5%となり、当第1四半期連結会計期間末において、1.9ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間及び通期とも前回公表(平成24年5月10日)の見直しは行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,550	14,926
受取手形及び売掛金	15,997	14,596
たな卸資産	31,534	27,016
その他	3,423	4,045
貸倒引当金	△12	△2
流動資産合計	67,492	60,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,504	9,596
機械装置及び運搬具(純額)	24,183	26,136
土地	16,946	16,946
その他(純額)	1,225	1,124
有形固定資産合計	51,860	53,804
無形固定資産		
のれん	501	550
鉱業権	23,238	26,375
その他	75	76
無形固定資産合計	23,815	27,003
投資その他の資産		
投資有価証券	4,634	3,853
その他	2,783	2,952
貸倒引当金	△782	△753
投資その他の資産合計	6,634	6,052
固定資産合計	82,310	86,859
資産合計	149,803	147,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,589	5,993
短期借入金	22,478	22,478
1年内返済予定の長期借入金	3,317	2,901
コマーシャル・ペーパー	2,000	1,000
未払法人税等	240	75
引当金	220	234
その他	8,141	8,095
流動負債合計	43,987	40,778
固定負債		
長期借入金	33,307	32,302
退職給付引当金	2,444	2,380
その他の引当金	439	432
資産除去債務	1,144	1,234
再評価に係る繰延税金負債	5,061	5,061
その他	2,536	2,587
固定負債合計	44,934	43,998
負債合計	88,921	84,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	27,803	25,222
自己株式	△23	△23
株主資本合計	52,287	49,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	680	169
繰延ヘッジ損益	△237	644
土地再評価差額金	8,290	8,290
為替換算調整勘定	△139	3,854
その他の包括利益累計額合計	8,594	12,959
純資産合計	60,882	62,665
負債純資産合計	149,803	147,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	24,545	23,664
売上原価	22,580	23,171
売上総利益	1,964	492
販売費及び一般管理費	1,614	1,946
営業利益又は営業損失(△)	349	△1,453
営業外収益		
受取利息	42	7
受取配当金	53	40
為替差益	82	—
デリバティブ評価益	94	—
その他	80	69
営業外収益合計	353	116
営業外費用		
支払利息	106	131
為替差損	—	897
その他	18	23
営業外費用合計	125	1,052
経常利益又は経常損失(△)	577	△2,389
特別利益		
固定資産売却益	0	1
鉱業権売却益	1,012	—
その他	5	4
特別利益合計	1,018	5
特別損失		
固定資産除却損	47	63
災害による損失	735	—
その他	8	6
特別損失合計	791	70
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	803	△2,454
法人税、住民税及び事業税	92	92
法人税等調整額	586	△916
法人税等合計	678	△824
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	125	△1,629
四半期純利益又は四半期純損失(△)	125	△1,629

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	125	△1,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	△511
繰延ヘッジ損益	2,309	881
為替換算調整勘定	995	3,993
その他の包括利益合計	3,255	4,364
四半期包括利益	3,380	2,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,380	2,734
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,020	1,463	1,876	388	21,749	2,795	24,545	—	24,545
セグメント間の内部 売上高又は振替高	790	582	34	0	1,407	1,472	2,880	△2,880	—
計	18,810	2,046	1,911	388	23,157	4,268	27,425	△2,880	24,545
セグメント利益又は損 失(△)	42	△254	236	44	68	322	390	△41	349

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△41百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△13百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	16,869	1,518	1,762	1,127	21,277	2,386	23,664	—	23,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	693	730	34	0	1,458	1,214	2,673	△2,673	—
計	17,563	2,248	1,796	1,127	22,736	3,601	26,337	△2,673	23,664
セグメント利益又は損 失(△)	△1,720	△345	218	145	△1,701	251	△1,450	△3	△1,453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△21百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の各報告セグメントごとのセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

4. 補足情報

(1) 連結売上高

期別 品名	前第1四半期連結累計期間 〔自平成23年4月1日 至平成23年6月30日〕			当第1四半期連結累計期間 〔自平成24年4月1日 至平成24年6月30日〕			前連結会計年度 〔自平成23年4月1日 至平成24年3月31日〕		
	数量	金額 百万円	構成比 %	数量	金額 百万円	構成比 %	数量	金額 百万円	構成比 %
亜鉛製品	t 20,765	4,459	18.2	t 26,908	4,937	20.9	t 100,572	19,524	18.4
鉛製品	t 23,995	5,259	21.4	t 21,012	4,088	17.3	t 91,994	19,595	18.5
電気銀	Kg 83,778	8,281	33.7	Kg 82,958	6,321	26.7	Kg 342,733	30,651	28.9
硫酸	t 38,605	257	1.0	t 63,973	464	2.0	t 239,056	1,468	1.4
電子部品		816	3.3		741	3.1		2,974	2.8
電子材料等		1,099	4.5		1,060	4.5		4,228	4.0
酸化亜鉛		109	0.4		564	2.4		1,494	1.4
廃棄物処理		279	1.1		563	2.4		1,500	1.4
防音建材		499	2.0		504	2.1		2,016	1.9
完成工事高		666	2.7		300	1.3		4,701	4.4
その他		2,816	11.5		4,114	17.4		17,759	16.8
合計		24,545	100.0		23,664	100.0		105,914	100.0